

研究テーマ： 教科書を読みたくなる指導の提案

所属 高知県立城山高等学校
氏名 久万 真喜子
RG SH5

1 アクション・リサーチⅠとⅡからの分析

- (1) 最初に音声から入ると、その単語、英文に早く慣れて、その後文字を見て読むことへの抵抗感が少なくなっている。
- (2) 本校の生徒の場合、これまで英語を読むという練習量が少ない傾向がある。
- (3) 教科書程度の長さの英文(一文に10語以内)を自力で読め、意味を理解した後でその英文を書き取ることで、より効果的に英文を覚えられる。
- (4) 今後の課題
 - ① 家庭で学習する時間を確保すること。
 - ② 教科書の英文でやる気をより起こさせる教材づくり。
 - ③ 教科書で読んだ英文に対する抵抗感をなくするような方法を考える。

2 リサーチ・クエスチョン

教科書を読む気にさせる教材づくりと練習とはどのようなものか。

3 予備調査 英語アンケート (1年生 20名)

- (1) 英文を読むとき不安なことは何ですか。(複数回答)
 - ① 単語の読み方がわからない(12)
 - ② 単語の意味がわからない(8)
 - ③ 英文の意味がわからない(4)
 - ④ 英文の内容の予備知識がない(1)
- (2) 英文を読むときに気をつけていること何ですか。(複数回答)
 - ① 速く読むこと(1)
 - ② 正しい発音(11)
 - ③ 強く読むところと弱く読むところ(2)
 - ④ イントネーション(2)
 - ⑤ 声の大きさ(1)
 - ⑥ すらすらなめらかに読むこと(3)
 - ⑦ 意味を確認しながら読むこと(14)
- (3) 次であなたにとってやりやすくして適しているのはどれですか。
 - ① 英文を聞く→単語、英文の意味を確認する→音読する(5)
 - ② 単語、英文の意味を確認する→音読する→英文を聞く(12)
 - ③ 音読する→英文を聞く→単語、英文の意味を確認する(3)
- (4) 英文を読むことへの抵抗を軽くするためにはどのようなことが必要ですか。(複数回答)
 - ① 正しい発音を身に付ける(8)
 - ② イントネーションや強く読む部分を知ること(4)
 - ③ 単語、熟語の意味(10)
 - ④ 英文の日本語訳(5)
 - ⑤ リスニングで何回も聞くこと(6)
- (5) 音読で使いたい教材は何ですか。また、その理由も書いてください。
 - ① 教科書(8)[一番わかりやすい、慣れている]
 - ② ストーリーのある物語の英文(4)[いろいろな文を読みたい、楽しい]
 - ③ 映画などのせりふ(2)[楽しい授業になる]
 - ④ 英語の歌(7)[楽しく覚えたい、やる気がでる]
 - ⑤ 英語の問題集にあるような英文(1)[真剣になる]
- (6) 英文を覚えるために良い方法は何ですか。(複数回答)
 - ① 英文を書いて覚える(10)
 - ② 聞いて覚える(3)
 - ③ 何回も音読する(3)
 - ④ 何も見ないで読む練習(3)
 - ⑤ その他(発音に気をつけて読む練習)
- (7) 予備調査の結果に基づいてわかったこと。
 - ① 英文を読む前に単語の正しい発音と意味の定着を図ること。
 - ② 教科書中心のわかりやすく楽しい授業を生徒は望んでいる。

4 仮説の設定

- (1) 生徒の到達度に応じて3種類のプリントを用意して、個人で1種類選ばせて読みの練習させる。自分が選んだ問題ならある程度到達までこぎつけるのではないかな。
- (2) 教科書の本文の単語を空白にして、その空白の数によって易しい、普通、難しいの3段階とし易しい課題ができて満足するのではなく、次にはより難しい課題にチャレンジさせると目標が見えて受け身的な反応が軽減されないか。
- (3) 一番難しい問題から読む練習をさせたら、より効果が高まる生徒もいるのではないかな。

5 計画の実践

仮説(1)と(2)でとり組んだこと

- (1) 教科書の本文の単語をところどころ空所抜きにしたプリントを難易度に応じて3種類用意する。
* HOP[易しい](ひとつの英文に空白は1~2語)

- * STEP[普通] (ひとつの英文に空白は3～4個程度)
- * JUMP[難しい] (最初の1語だけ与えてあとは空白)
- (2) 3種類の問題を配る前に単語と英文の意味をおおむね理解させておく。
- (3) 自分の到達度に応じて問題を1つ選ばせる。易しい問題ができるようになったら、次の段階のプリントに進むように励ます。自信のない生徒は1文につき、()が1つの優しい問題で練習させて最初から難しいことを要求しない。
- (4) 空白はランダムに与えるのではなくて規則性を持たせて空白にする。
 [原文] My name is KONISHIKI.
 [HOP] My name is ().
 [STEP] My name ()().
 [JUMP] My ()()()

仮説(3)でとり組んだこと

- (1) できるだけ毎時間の授業で教科書を読む活動をさせておく。
- (2) クラスが空白読みに慣れてきたら、次のレッスンでは最初から JUMP[難しい]問題を配布して一番難しい段階のレベルを示す。
- (3) [難しい]課題で練習をさせた後、一番易しい課題[HOP]と中間の課題[STEP]を配布し、生徒にどの課題を選んで読みのテストを受けるかを決めさせる。
- (4) 英語に自信のある生徒は難しい課題に取り組ませてそれが達成されたら、易しい課題は抵抗感なくできるようになることを感じさせる。最初からできないとあきらめずにやや難しい課題も、まずやってみるように生徒を励ます。

6 実践の結果

- (1) 初めは難しいと思った問題が達成されると、次のレベルの問題に取り組もうと意欲が出てきた生徒もいた。
- (2) 易しすぎる教材はかえって生徒の興味を引かない。
- (3) 仮説(1)から(3)までの実践の結果、生徒19名のうち HOP[易しい]のテストを受けたのは6名 STEP[ふつう]は5名、JUMP[難しい]は8名であった。練習を続けた後で、一番難しい問題を選んでテストに臨んだ生徒が予想より多く、これからも難しい問題にチャレンジしていこうと意欲をのぞかせた生徒もいた。

7 結果の検証 (どの程度達成できたか)

仮説(1)について

- (1) 与えられた問題だけでもこなそうとする姿勢がみえた。
- (2) 単語の意味や英文の内容について、予備知識があると音読の際に抵抗が少ない。

仮説(2)について

- (3) 教師が一方的に与えた課題よりは自分で選ぶことができるので、生徒は積極的に練習できる結果となった。
- (4) 自分がめざす目標を決めて読みの練習をすることで集中でき、問題のレベルアップがのぞめた。

仮説(3)について

- (5) 教師が生徒に要求する最低限のレベルをはっきり示してやり、やる気を出させる工夫が必要である。
- (6) 最終的に一番難しい課題を選んだ生徒が多かったのは自尊心のあらわれで向上心が見えた。

8 成果

- (1) 何を勉強し、どのように練習しなければならないかがはっきりしていると集中力が増す。
- (2) 難易度が自分のレベルよりやや上のレベルをめざすと励みになる。達成度が50%ぐらいの課題が適当であると感じた。
- (3) 易しい課題から難しい課題へと段階を追って学習する練習となった。
- (4) 集中して読む態度の育成につながり、全体の英文をまとめて読むことに慣れてきた。
- (5) 3種類の中から一番難しい問題を選んで練習していることが、自分の可能性に挑戦しているという自負心につながり自信がついた生徒もいた。

9 生徒の実践後のアンケートの結果

- (1) あなたが「HOP」「STEP」「JUMP」の教材から1つを選んだ理由は何ですか。
 * HOP(7)「自分にあっていて」 * STEP (5)「ちょっと難しい方がやる気がでる、自分の勉強になる」 * JUMP(7)「自分の力になるから、難しい方にチャレンジしてみたかった、練習してみても自分でやれると思ったから、少し難しい方がやりがいがある」
- (2) 空白読みにについての感想
 * 肯定的「英語を覚える力がつく、自分のためになった、enjoy できた、難しかったけれどうまくいってよかった、むずかしかった」
 * 否定的「だるい、わからない」
- (3) 英文を暗記することは英語の学習で役に立つと思いますか。
 Yes--- 13名、 NO--- 3名、 わからない--- 4名

10 2学期に行ったことに基づいて今後の課題

- (1) 十分に練習する時間を与え、個人差があるので急がせない。
- (2) テストの出来不出来ではなく、難しいことにも挑戦してできたことで評価し、励ます。
- (3) だらだらとした教科書の丸覚えとならないように、時間を決めて練習させる。
- (4) このような課題を与えないと教科書読むことを一切しない生徒もいるし、まったくできない生徒もいる。これらの生徒にやる気を起こさせる教材と、きめ細やかな個別指導が求められる。